



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当兼管理本部長 (氏名) 山田 勝重

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	50,478	2.5	3,642	14.5	3,943	13.4	3,219	0.1
2019年3月期第3四半期	49,242	1.9	4,258	3.2	4,553	2.9	3,217	4.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,943百万円 (10.9%) 2019年3月期第3四半期 2,654百万円 (37.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	107.57	107.50
2019年3月期第3四半期	107.55	107.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	83,082	68,747	82.7
2019年3月期	79,984	66,938	83.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 68,712百万円 2019年3月期 66,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		19.00		19.00	38.00
2020年3月期		19.00			
2020年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	1.3	5,250	0.7	5,550	0.1	3,800	9.3	126.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社フーズパレット、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	34,991,521 株	2019年3月期	34,991,521 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	5,053,449 株	2019年3月期	5,064,449 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	29,932,072 株	2019年3月期3Q	29,917,932 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
3. 補足情報	8
(1) 販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦等の影響で先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、労働力不足の進行や消費税増税後の消費者マインドの冷え込みなど、依然として厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおきましては、2019年11月7日の創立記念日に新企業スローガン「おいしさ、けんこう、つぎつぎ、わくわく。」を策定しました。また、おかず事業、ヨーグルト事業の更なる拡大とともに、年間を通じて最大の需要期である12月商戦に一丸となって取り組みました。

売上高は、デザート製品、豆製品が前年実績を下回りましたが、惣菜製品、昆布製品、ヨーグルト製品が前年実績を上回ったことから、504億78百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

利益面では、人件費、外注費及び荷造運賃等の増加により売上原価率、販管費率ともに上昇したことから、営業利益は36億42百万円（前年同四半期比14.5%減）、経常利益は39億43百万円（前年同四半期比13.4%減）となりましたが、投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億19百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品では、2019年8月1日より連結子会社となった株式会社フーズパレットの中華惣菜が加わったことや、包装惣菜では「おぼんざい小鉢」シリーズの拡販に注力したことから、惣菜製品の売上高は前年実績を大きく上回りました。

昆布製品では、新元号、秋の行楽、受験シーズンの年間を通じた「よろこんぶキャンペーン」を実施するとともに、首都圏及び近畿圏において佃煮「ふじっ子煮」のTVCMを放映したことや、塩こんぶが継続して堅調に推移したことから、昆布製品の売上高は前年実績を上回りました。

豆製品では、大豆の健康効果の訴求により蒸し豆が伸長したものの、主力である煮豆が前年実績を下回ったため、豆製品全体の売上高は前年実績を下回りました。

ヨーグルト製品では、量販チャネルの「カスピ海ヨーグルト脂肪ゼロ」を9月より北海道産生乳100%にリニューアルしたことや、中四国九州エリアで「カスピ海ヨーグルト」シリーズのTVCMを放映し市場拡大に努めたことから、ヨーグルト製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

デザート製品では、「フルーツセラピー」シリーズにおいて、期間限定の新商品「温州みかん」の投入等により品群全体の活性化に注力しましたが、デザート製品の売上高は前年実績を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30億97百万円増加し、830億82百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億4百万円増加し、363億3百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ14億92百万円増加し、467億78百万円となりました。これは主に、株式会社フーズパレットの買収による有形固定資産の増加によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13億3百万円増加し、128億70百万円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、14億63百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18億8百万円増加し、687億47百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.6%から82.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（2019年3月期決算発表）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,224	13,546
受取手形及び売掛金	10,595	13,517
商品及び製品	1,097	1,217
仕掛品	325	282
原材料及び貯蔵品	7,164	7,347
その他	294	394
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	34,698	36,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,897	37,617
減価償却累計額	△22,415	△24,179
建物及び構築物（純額）	13,482	13,437
機械装置及び運搬具	27,650	29,024
減価償却累計額	△17,340	△18,919
機械装置及び運搬具（純額）	10,309	10,105
工具、器具及び備品	1,884	2,239
減価償却累計額	△1,491	△1,816
工具、器具及び備品（純額）	392	422
土地	13,377	14,082
建設仮勘定	709	1,731
有形固定資産合計	38,272	39,779
無形固定資産		
投資その他の資産	335	720
投資有価証券	5,007	4,311
繰延税金資産	129	405
その他	1,547	1,569
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	6,678	6,278
固定資産合計	45,286	46,778
資産合計	79,984	83,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,212	5,272
短期借入金	-	500
未払金	4,022	4,416
未払法人税等	1,270	860
未払消費税等	601	410
賞与引当金	499	125
預り金	237	412
その他	724	872
流動負債合計	11,567	12,870
固定負債		
長期末払金	246	199
退職給付に係る負債	1,163	1,201
従業員株式給付引当金	68	61
固定負債合計	1,478	1,463
負債合計	13,045	14,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,472	7,482
利益剰余金	58,158	60,237
自己株式	△6,946	△6,928
株主資本合計	65,251	67,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	1,452
退職給付に係る調整累計額	△111	△97
その他の包括利益累計額合計	1,631	1,355
新株予約権	56	35
純資産合計	66,938	68,747
負債純資産合計	79,984	83,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	49,242	50,478
売上原価	29,093	30,120
売上総利益	20,148	20,357
販売費及び一般管理費	15,890	16,715
営業利益	4,258	3,642
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	163	170
受取賃貸料	75	77
売電収入	39	41
その他	62	52
営業外収益合計	341	342
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	19	20
売電費用	19	17
その他	5	1
営業外費用合計	45	41
経常利益	4,553	3,943
特別利益		
固定資産売却益	45	1
投資有価証券売却益	301	858
国庫補助金等収入	-	59
受取保険金	28	-
特別利益合計	375	919
特別損失		
固定資産処分損	18	149
投資有価証券売却損	178	15
災害による損失	76	-
その他	-	6
特別損失合計	273	171
税金等調整前四半期純利益	4,656	4,691
法人税、住民税及び事業税	1,477	1,571
法人税等調整額	△39	△99
法人税等合計	1,438	1,471
四半期純利益	3,217	3,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,217	3,219

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,217	3,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△576	△289
退職給付に係る調整額	14	13
その他の包括利益合計	△562	△276
四半期包括利益	2,654	2,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,654	2,943
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社フーズパレットを子会社化したため、連結の範囲に含めております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	15,909	32.3%	17,015	33.7%	1,105	20,989	32.7%
昆布製品	13,787	28.0%	13,870	27.5%	82	17,746	27.7%
豆製品	10,792	21.9%	10,683	21.2%	△108	13,980	21.8%
ヨーグルト製品	5,137	10.4%	5,203	10.3%	66	6,803	10.6%
デザート製品	2,599	5.3%	2,475	4.9%	△124	3,256	5.1%
その他製品	1,016	2.1%	1,230	2.4%	213	1,370	2.1%
合計	49,242	100.0%	50,478	100.0%	1,236	64,145	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。